

第3次渋川市総合計画策定に係る市民説明会における意見交換概要

- 1 日時 令和8年8月2日（日） 午前10時～午前11時30分
- 2 会場 市民会館
- 3 意見交換内容（参加者46人）

No.	意見	回答
1	市長がかわっても、総合計画に基づき予算編成をする考えを変えないでほしい。市職員も総合計画の重要性を理解して取り組んでほしい。	予算は総合計画に連動しながら編成していきます。総合計画は中長期的にまちづくりを進めるための計画ですので、基本的な姿勢は、市長が交代しても変わらないと考えています。
2	第3次総合計画の策定に当たり、今後も市民参画を積極的に進めてほしい。	できるだけ多くの市民に参加していただけるよう市民参画に係る取組を進めます。
3	市は部活動の地域展開を進めているが、部活動には教育的な側面があることに配慮してほしい。また、地域展開が進み、学校外の特定の団体に所属すると、費用負担が増え、その結果、生徒の選択肢が狭くなってしまうことを懸念している。	生徒数の減少により部活動の選択肢が少ない状況となっているため、部活動の地域展開は重要と考えています。学校教育としての在り方や指導者の質の確保などを検討しながら進めていきます。
4	学校のトイレに和式が残っているようだが、洋式トイレに慣れた子どもには使いづらい。子どもたちが使いやすいように改修を進めてほしい。	学校トイレの洋式化は小学校を優先として改修を進めています。全て改修するまでには時間を要しますが、引き続き計画的に取り組めます。
5	新しい総合計画は、人口や税収、市職員などの減少に対応する、これまでと異なる時代の計画となる。そうした中でこれまでと同様の行政サービスを継続していくためには、AIを活用した効率化や上下水道など生活に欠かせないインフラの耐震化などに加えて、医療費の抑制など市民自身ができることをやっていくということが重要ではないか。	AIについては、生成AIの試行を始めました。水道管の耐震化は、遅れていますが、少しずつでも確実に進めていきます。医療費の抑制は、ご指摘のとおり市民1人ひとりが意識をもって健康づくりに取り組んでいただくことが重要ですので、そうした市民協働によるまちづくりが進むような計画策定に取り組めます。
6	新しい総合計画を策定した後も、適宜、見直しをしてほしい。	総合計画全体は10年間の計画となりますが、5年ごとに取組の方向性を見直します。
7	渋川市が消滅都市にならないよう、先進的な取組を市民と一緒に進めてほしい。人口減少など課題は多いが、こうした市民説明会などを通じて市民に市の状況を公開しながら市政運営をしてほしい。	人口減少が進む中でも市民が暮らしやすいまちづくりが重要です。市民が住み続けたい、戻ってきたいと思っていただけるように取組を進めます。

No.	意見	回答
8	八木原駅の駐輪場に屋根が整備されたが、駅の周辺整備により数年で取り壊されてしまった。こうした無駄がないよう計画的に取り組んでほしい。	駐輪場を整備した時点では、駅周辺の整備計画の中で未定な部分がありました。駐輪場の撤去は、駅東西の自由通路を整備するためやむを得ず実施しました。
9	新しい総合計画が多くの市民の理解を得られるように、特に若者への周知を進めてほしい。	今回の市民説明会の開催案内は、子育て中の保護者など若い世代に対してもご案内いたしました。今後も、そうした世代の参加を促していきます。
10	市内各地域で若者が少ないと感じる。子育て環境の整備だけではなく、若者が気軽に集まって、スポーツなどに親しむような出会いの場を設けることが必要ではないか。また、そうした機会への参加を促すことが人口減少対策につながると思う。	婚活を行う団体への補助などを通じてそうした取組を支援しています。今後も若い人に参加してもらいやすいような取組を検討していきます。

<備考>

本資料は、説明会において参加者からいただいたご意見の概要をまとめたものです。説明会の結果は別途、報告書にまとめ公表します。